

様式第2の2（第3条関係）

排出水の排水系統別の汚染状態及び量の届出書

年 月 日

様

住所  
届出者 氏名

（法人にあつては名称及びその代表者の氏名）

水質汚濁防止法第6条第3項の規定により、排出水の排水系統別の汚染状態及び量について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
△ 排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙のとおり。	※審査結果	
		※備考	

- 備考1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 4 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載すること。

別紙

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

指定項目の別

特定 排出 水	業種その 他の区分	汚染状態 (mg/l)		水量 (m <sup>3</sup> /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Q <sub>co</sub>	Q <sub>ci</sub>	Q <sub>cj</sub>	通常	最大	
	合計										
特定 出水 以外 の排 出水	種類及び 用途	汚染状態 (mg/l)		水量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)		/			
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合計										
その 他の べき 考事 と項 備考											

- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
- 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
- 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q<sub>co</sub>」を「Q<sub>no</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>ni</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
- 4 リン含有量について記載する場合には、「Q<sub>co</sub>」を「Q<sub>po</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>pi</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
- 5 ※印の欄には記載しないこと。